

みやざきグローバルプランに基づく令和5年度の主な取組について

国際・経済交流課

みやざきグローバルプラン（第2期、令和5年6月改定）の概要

1 改定趣旨

少子高齢化やデジタル化など社会・経済情勢が大きく変化する中で、本県の持続的な発展を実現するため、コロナの影響で道半ばとなっていた取組を着実に積み重ねて経済・人的交流の回復を図るとともに、引き続き、グローバルな視点から取り組むべき施策を総合的・計画的に推進する。

2 位置付け

県総合計画のグローバル関連施策に関する部門別計画として、令和5年度～令和8年度の計画期間で改定

3 推進体制

みやざきグローバルプラン推進本部（本部長：知事）を中心に、関係部局が連携し、海外拠点機能等を活用しながら、各施策を推進する。

4 施策体系

施策Ⅰ グローバル経済交流の強化 施策Ⅱ 多文化共生社会づくりの推進
施策Ⅲ 国際交流の促進とグローバル社会で活躍する人づくり

令和5年度の主な取組

施策Ⅰ グローバル経済交流の強化

1 海外への展開促進

- 西都市に県内初のハラール食肉処理施設の整備（R6.2月）
- 海外のバイヤーやレストラン等をターゲットにした本県産本格焼酎のPR（中国、香港、アメリカ、EU）



【香港での焼酎試飲PRイベント】

2 海外からの誘致推進

- 東アジアを重点地域とした誘客プロモーションの実施（韓国、台湾、香港等）
- ゴルフツーリズムのワンストップ窓口（海外旅行事業者専用）を創設（R5.11月）

3 経済交流を担う人材の育成・確保

- ベトナム国立農業大学との連携合意に基づき、同学内に「宮崎クラス」を設置（R5.6月）
知事の講義や県職員の宮崎授業を経て、1期生13名が県内で技能実習開始（R6.2月）
- 外国人留学生等高度外国人材の就職支援、企業の受入支援（就職相談対応258件、企業相談対応420件、内定数14件）

4 交流基盤の維持・充実

- アシアナ航空による「宮崎－ソウル線」定期便の再開（R5.9月）
- 高校生が自ら台湾への修学旅行を企画する「修学旅行プロデュース大会」の実施
優秀校による台湾訪問、学校交流（2校）

施策Ⅱ 多文化共生社会づくりの推進

1 外国人住民への支援

- 「みやざき外国人サポートセンター」の運営（相談件数217件、199名）
- 日本語講座の実施（16コース 延べ1,349名参加）

2 外国人と共生する地域社会づくり

- 多文化共生アドバイザー派遣による異文化理解・多文化共生に関する講座の実施（20回 延べ1,129名参加）
- 外国人住民支援や交流等の活動に対する補助（8団体）

施策Ⅲ 国際交流の促進とグローバル社会で活躍する人づくり

1 国際交流の促進

- 高校生交流事業による本県と韓国・香港の高校生との相互交流（韓国：R5.8月・12月、香港：R5.8月）
- 宮崎県人会世界大会の開催（R5.10月）

2 グローバル社会に対応できる幅広い人材の育成

- 県国際交流員による国際理解講座の実施（32回）
- インドネシアからの海外技術研修員の受入（R5.11月～R6.3月）



【宮崎県人会世界大会】

成果指標の実績

施策Ⅰ 関連指標

指標	参考値	改定時 現況値	計画1年目 (令和5年度)	目標値
①輸出額（年）	1,824億円 〔R元〕	1,961億円 〔R3〕	1,796億円 〔R4〕	2,275億円 〔R8〕
②農林水産物・食品の輸出額（年）	117.4億円 〔R元〕	187.5億円 〔R3〕	200.6億円 〔R4〕	210億円 〔R8〕
③輸出に取り組む企業・団体数（年）	178社 〔R元〕	185社 〔R3〕	191社 〔R4〕	210社 〔R8〕
④外国人延べ宿泊者数（年）	33万人 〔R元〕	1万人 〔R3〕	11万6千人 〔R5〕	36万人 〔R8〕
⑤国外からのクルーズ船寄港回数 （年）	11回 〔R元〕	0回 〔R4〕	14回 〔R5〕	50回 〔R8〕

注：「参考値」は、コロナ禍前の状況と比較するために記載

成果指標の実績

施策Ⅱ・Ⅲ関連指標

指標	参考値	改定時 現況値	計画1年目 (令和5年度)	目標値
⑥外国人住民が暮らしやすいと感じる割合	88.9% 〔R元〕	92.2% 〔R3〕	95.9% 〔R5〕	100.0% 〔R8〕
⑦外国人や外国の文化・習慣などに対する 偏見や差別があると感じる県民の割合	19.1% 〔R元〕	10.3% 〔R4〕	10.6% 〔R5〕	0.0% 〔R8〕
⑧外国人や外国の団体との交流・国際協力 に関する行事・活動に参加したことのある 県民の割合	13.8% 〔R元〕	14.0% 〔R4〕	14.8% 〔R5〕	20.0% 〔R8〕
⑨県民のパスポート所有率	12.4% 〔R元〕	8.5% 〔R4〕	8.2% 〔R5〕	14.0% 〔R8〕

注：「参考値」は、コロナ禍前の状況と比較するために記載